

CASBEE 新築[簡易版]

評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年版 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	サンカルナ大手町	階数	地上14F
建設地	福岡県北九州市小倉北区大手町2-	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	230 人
気候区分	地域区分	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	有料老人ホーム	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2012年10月 予定	評価の実施日	2011年5月10日
敷地面積	2,751 m ²	作成者	株式会社久米設計
建築面積	1,500 m ²	確認日	2011年5月12日
延床面積	11,072 m ²	確認者	株式会社久米設計



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

S: A: B: B: C:

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
屋上緑化を積極的に行い、周辺環境に配慮するとともにヒートアイランド現象の抑制に寄与している。また免震構造を採用し、安全性を確保している。		
Q1 室内環境 F 内装材を全面的に採用	Q2 サービス性能 免震構造の採用	Q3 室外環境(敷地内) 0
LR1 エネルギー 高水準のERR値を実現	LR2 資源・マテリアル リサイクル材料の採用、節水型器具の採用	LR3 敷地外環境 駐車台数の抑制

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい